

事務事業実績測定調査

事務事業名称	公共下水道(汚水)改良事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	上下水道部				課	汚水整備課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3		R4					
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち											
	施策目標	1.災害に対する備えができています											
	実行計画名	1-3.水施策の推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2008(H20)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	下水道法				
関係補助金名称	防災・安全交付金			サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	下水道施設を利用している市民			
	サブターゲット	下水道施設を利用している事業者			
	ターゲットが抱える課題	下水道施設の円滑な利用受益の阻害。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	下水道施設の維持管理が円滑に行われている状態。				
事業概要	道路陥没の未然防止や雨天時などにおける汚水管への侵入水防止、管路の耐震化に向け、枚方市下水道整備基本計画に基づき、管路の点検・調査を実施し、汚水管渠の老朽化、耐震化対策として改築等を進める。また、都市計画事業等による支障移転についても実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		改築計画を作成した管路の改築が完了する。				点検・調査結果を基に改築等が必要な管路を把握し、改築計画を作成する。				ストックマネジメント計画に基づく改築等を進める管路施設を把握するため、点検・調査を実施する。			
指標説明		改築計画距離に対する改築距離の割合 【算出式:改築距離 ÷ 改築計画距離 × 100】				改築計画作成対象距離				調査実施管路距離			
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	0	0	0	0	0	0	0	17	4.1	4.3	8.6	1.2
	実績	0				0				3.6			
達成度										88%			
分析		改築計画未作成のため実績なし				改築計画未作成				調査対象施設の状況により達成度は88%となった			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.72
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.16
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	4,139	27,966	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	109	646	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	4,248	28,612	
	物件費計	—	67,090	166,515	262,435	63%
	歳出計	—	71,338	195,127		
歳入	国庫支出金	—	9,500	19,800	19,800	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	30,400	68,000	107,800	
	その他	—	14,877	11,447	29,784	
	歳入計	—	54,777	99,247	157,384	
	一般財源	—	16,561	67,268	105,051	

5. 総括的分析

総括的分析	下水道整備基本計画に基づき、老朽化対策については、管路の点検・調査を実施し、令和元年度に実施した点検・調査・診断結果を基に実施設計を行った。並びに耐震対策についても、耐震診断結果を基に実施設計を行った。また、都市計画道路整備に伴う支障移転を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も下水道整備基本計画に基づき管路の点検・調査を実施し、汚水管渠の老朽化、耐震化対策として改築等を進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	公共下水道(汚水)整備事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	上下水道部				課	汚水整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3		R4					
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち											
	実行計画名	26-2.上水道及び生活排水の適正処理の推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1958(S33)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	下水道法 都市計画法				
関係補助金名称	社会資本整備総合交付金			サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公共下水道が整備できていない地域の市民・事業者			
	サブターゲット	公共下水道が整備できていない地域の汚水排水が流れ込む淀川水系に生活する住民・事業者			
	ターゲットが抱える課題	公共下水道が整備されないことにより、都市基盤が整備されていない、あるいは淀川水系の水質汚濁が生じる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公共下水道の整備により汚水と雨水が別々に処理されることで、都市基盤整備及び淀川水系の水質汚濁防止が出来ている状態。				
事業概要	生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図るため、下水道の普及を促進する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	下水道の普及が促進される。	公共下水道が整備される。				計画に則り、工事・委託発注を行う。						
指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	公共下水道普及率	発注した工事・委託の完成率				工事・委託の発注率						
	単位 %				単位 %				単位 %			
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	97.1	97.2	97.2	97.3	100	100	100	100	100	100	100
	実績	97.4				83			100			
達成度	100%				83%				100%			
分析	目標値の97.1%は達成したが、行政人口の減少により97.4%となり達成度は100.31%となった。				コロナウィルス等の影響により一部の工事を繰り越した。				予定どおり発注した。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	9.98
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.64
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	94,182	89,612	73,407		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,451	2,347	2,585		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	96,633	91,959	75,992		
	物件費計	392,908	1,442,962	362,714	685,520	53%	
	歳出計	489,541	1,534,921	438,706			
歳入	国庫支出金	60,119	359,675	37,825	37,825		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	11,546	15,251	15,341	12,105		
	市債	282,430	1,029,900	274,100	558,500		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	354,095	1,404,826	327,266	608,430		
	一般財源	135,446	130,095	35,448	77,090		

5. 総括的分析

総括的分析	事業生活環境の改善や河川水質保全のため、公共下水道の整備完了に向けて、下水道(汚水)整備を推進。(整備人口普及率97.4%) 整備人口普及率の目標値97.1%を達成したが、行政人口の減少により達成度は100.31%となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	整備済み区域内に点在する未承諾地域や整備困難地区などの未整備地区の解消に取り組みます。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	汚水整備課運営事務												
測定年度	2020(R2)年度			部	上下水道部				課	汚水整備課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外										
	施策目標		99.施策体系外										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務						
事業期間	不明			年度	~		年度まで					
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット	~				
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	課の職員										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	所管事務が適切かつ効率的に執行されている状態。											
事業概要	課の運営業務											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
	分析												

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	1.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.63
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	9,715	9,730	9,660		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,145	1,390	1,216		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	10,860	11,120	10,876		
	物件費計	2,904	0	1,117	1,646	68%	
	歳出計	13,764	11,120	11,993			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
	一般財源	13,764	11,120	1,117	1,646		

5. 総括的分析

総括的分析	所管事務に係る他部局との連絡調整、各種庶務事務の執行や公用車の維持管理を適正に行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、円滑な事務執行に努めていく。